

## IL28B 遺伝子多型解析の検査に関する特許のライセンス契約締結のお知らせ

三菱化学メディエンス株式会社（本社：東京都港区、社長：吉原伸一）は、IL28B<sup>(\*)</sup>遺伝子多型解析に関する特許出願（国際公開番号：WO 2010/135649 A1）の実施許諾契約を LABORATORY CORPORATION OF AMERICA HOLDINGS（米国；以下「LabCorp 社」）と締結しました。この遺伝子多型解析に関する特許出願は、SCHERING CORPORATION（米国）が出願人であり、LabCorp 社に実施権が与えられています。当社はこの LabCorp 社から日本における実施権を取得致しました。本契約締結に基づき、弊社臨床検査事業では IL28B 遺伝子多型解析を6月より全国医療機関から受託開始致します。

C型慢性肝炎の標準的治療法であるペグインターフェロンとリバビリンの併用療法（以下 PEG-IFN/RBV 併用療法）は、1992年に開始されたインターフェロン単独投与に比して、その治療効果が大きく向上しました。しかしながら日本人に多い Genotype1 型高ウイルス量患者での同療法の奏効率は約 50%にとどまり、一層の治療効果の向上と治療開始前のよりの確な治療効果予測が求められています。

現在、IL28B 遺伝子及びその近傍の一塩基多型（single nucleotide polymorphism：SNP）が通常の変異子（メジャーアレル）と PEG-IFN/RBV 併用療法に対する低反応型の変異子（マイナーアレル）では治療効果が大きく異なり、IL28B 遺伝子及びその近傍の SNP が PEG-IFN/RBV 併用療法の治療効果を予測する因子となり得ることが国内外で報告されています。さらに、IL28B 遺伝子座の代表的な SNP である rs8099917 にマイナーアレル（TG または GG）を持つ患者群は、メジャーアレル（TT）を持つ患者群に比して、PEG-IFN/RBV 併用療法が無効である比率が有意に高いことも報告されています。

C型慢性肝炎の治療においては、患者の IL28B 遺伝子多型を解析することで、より有効な治療法の選択が可能となることが報告されており、IL28B 遺伝子多型解析は個別化医療のひとつとして期待されています。

(\*1) IL28B 遺伝子：19 番染色体上に位置し、インターフェロンの抗ウイルス活性誘導に関与すると考えられる遺伝子

### 【検査概要】

- ・検査項目名 : IL28B 遺伝子多型解析
- ・検体 : EDTA 加血液
- ・検査方法 : インバーダープラス法
- ・所要日数 : 4～10 日
- ・定価 : 35,000 円
- ・実施料 : 未収載（2012年5月現在）
- ・受託開始 : 2012年6月1日

## 【会社概要】

商号 : 三菱化学メディエンス株式会社  
本社 : 東京都港区芝浦四丁目2番8号  
代表者 : 代表取締役社長 吉原伸一  
資本金 : 30億円  
売上高(連結) : 783億円(2011年3月期)  
主な事業内容 : 臨床検査(生化学的検査、血液学的検査、免疫学的検査、微生物学的検査、遺伝子検査、病理学的検査、その他検査)、予防医学関連サービス、医療関連サービス、体外診断用医薬品、体外診断用機器・試薬等の開発・製造・販売及び輸出入、医薬品開発支援サービス(医薬品探索支援・非臨床試験・臨床試験)、ヒト細胞による薬効・毒性評価、バイオマーカー測定と解析(タンパク質・遺伝子)、医薬・農薬・化学品・食品添加物・化粧品等における安全性評価・環境影響評価サービス、食の安全サポート、ドーピング検査  
社員数(連結) : 3,013名(2011年3月期)

以上

## 【本件に関するお問い合わせ先】

プレスリリースに関して : 総務部 総務グループ 広報担当 中野  
TEL 03-6722-4010

検査内容に関して : 診断検査事業本部 臨床検査事業部 商品計画グループ 黒沢  
TEL 03-6722-4040